

## 令和元年度事業報告の件

### 1. 第8回定時総会実施報告

- (1) 総会の種類 定時総会
- (2) 開催日時 令和元年6月14日 13時30分～14時30分
- (3) 開催場所 東京都港区新橋1-2-6 第一ホテル東京 4階「プリマヴェーラ」
- (4) 出席代議員数 138名 (内訳) 本人出席79名、書面表決59名
- (5) 欠席代議員数 3名
- (6) 出席理事・監事 理事17名、監事3名
- (7) 欠席理事・監事 理事1名、監事0名
- (8) 議題

第8回総会における第1号議案から第5号議案すべて承認され、第1号報告から第3号報告を報告した。

- ・第1号議案：平成30年度決算報告（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）の件
- ・第2号議案：定款の変更の件
- ・第3号議案：役員報酬並びに費用に関する規程の変更の件
- ・第4号議案：任期満了に伴う役員（理事18名、監事3名）の選任の件
- ・第5号議案：本日の決議中必要ある場合、決議の本旨に反しない字句の訂正を議長一任について
- ・第1号報告：平成30年度事業報告の件
- ・第2号報告：平成31年度（令和元年度）事業計画の件
- ・第3号報告：平成31年度（令和元年度）収支予算の件

### 2. 令和元年度の代議員について

令和元年度の代議員は141名となっています。

(単位：名)

地域協会	代議員数	備考
東京都	39	
栃木県	9	
群馬県	11	
茨城県	15	
埼玉県	17	
千葉県	18	
神奈川県	23	
山梨県	5	
静岡県	4	
計	141	

### 3. 会員の動向

厳しい社会情勢を反映して、平成31年4月会員数8,763名に比べ、203名減少し、令和2年3月会員数は8,560名となっています。

(単位：名)

地域協会	会 員 数			備 考 (新加入)
	4月会員数	3月会員数	増減	
東京都	2,399	2,332	▲ 67	18
栃木県	563	548	▲ 15	1
群馬県	709	688	▲ 21	6
茨城県	908	885	▲ 23	3
埼玉県	1,072	1,054	▲ 18	10
千葉県	1,108	1,073	▲ 35	8
神奈川県	1,429	1,425	▲ 4	20
山梨県	310	302	▲ 8	1
静岡県	265	253	▲ 12	1
計	8,763	8,560	▲ 203	68

### 4. 他団体の委員会への参画

- 4月 9日 (火) 電気安全関東委員会 幹事会
- 4月18日 (木) 電気安全関東委員会 常任委員会
- 5月 9日 (木) 電気安全関東委員会 電気安全向上連絡会議
- 5月15日 (水) 高圧機器施工技術認定委員会
- 5月16日 (木) 電気安全関東委員会 通常総会
- 5月29日 (水) 日本電気協会関東支部 第31回、第32回運営委員会・支部大会
- 6月 6日 (木) 電気安全関東委員会 広報推進委員会
- 7月24日 (水) 関東地区証明用電気計器対策委員会
- 7月29日 (月) 電気安全関東委員会 表彰予備選考会
- 8月 5日 (月) 電気安全関東委員会 表彰選考委員会
- 11月22日 (金) 電気安全関東委員会 電気安全向上連絡会議
- 1月17日 (金) 電気安全関東委員会 電気安全向上連絡会議
- 1月28日 (火) 電気安全関東委員会 表彰予備選考会
- 2月 6日 (木) 電気安全関東委員会 表彰選考委員会
- 2月28日 (金) 日本電気協会関東支部 第34回運営委員会
- 3月24日 (火) 電気安全関東委員会 電気安全向上連絡会議

## 5. 理事会、常務会、委員会等の開催状況

4月12日	常務会	10月 8日	全関技術競技大会実行委員会
4月22日	監査会	10月11日	常務会
4月25日	臨時常務会	10月23日	中間監査
4月25日	理事会	10月25日	電気安全表彰推薦候補選考委員会
5月10日	常務会（書面表決）	10月25日	臨時常務会
5月21日	事業委員会	10月25日	理事会
5月27日	役員候補者選考委員会（書面表決）	11月12日	常務会（書面表決）
5月28日	臨時常務会（書面表決）	12月 3日	全関技術競技大会採点委員打合せ
5月29日	臨時理事会（書面表決）	12月 4日	全関技術競技大会実行委員会
6月14日	電気安全表彰推薦候補選考委員会	12月12日	常務会
6月14日	常務会	1月 7日	臨時常務会
6月14日	臨時理事会	1月 7日	安全祈願
6月14日	第8回定時総会	1月24日	常務会
6月14日	臨時新理事会	1月24日	関東地区電気エネルギーを考える委員会
6月28日	内閣府へ平成30年度事業関係報告提出	1月24日	賀詞交歓会
7月11日	漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動連絡会	2月12日	常務会（書面表決）
7月12日	常務会	3月12日	常務会（書面表決）
8月 8日	関東東北産業保安監督部へ事業説明	3月26日	表彰選考委員会
8月 9日	常務会（書面表決）	3月26日	臨時常務会
9月 6日	内線規程講習会講師事前打合せ会	3月26日	理事会（書面表決）
9月12日	常務会	3月31日	内閣府へ令和2年度事業計画・予算提出
9月26日	内線規程講習会講師事前打合せ会		

## 6. 令和元年度の所管事項について

令和元年度の総務関係、事業関係、技術関係は、以下の所管事項に取り組みました。

所管区分	所 管 事 項
総務関係	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 予算、決算並びに協会財産に関する事項</li><li>2. 定款並びに諸規程に関する事項</li><li>3. 広報並びに外部折衝に関する事項</li><li>4. 災害防止に関する事項</li><li>5. 非常災害時の動員に関する事項</li><li>6. 事務局の業務運営に関する事項</li><li>7. その他総務、庶務に関する事項</li></ol>
事業関係	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 住宅電気工事センターの運営に関する事項</li><li>2. 引込線請負工事の運営に関する事項</li><li>3. 一般用電気工作物調査業務運営に関する事項</li><li>4. 一般用電気工作物の保守管理に関する事項</li><li>5. 訪問サービス業務に関する事項</li><li>6. 新規事業に関する事項</li><li>7. その他事業に関する事項</li></ol>
技術関係	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 電気安全の確保に関する事項</li><li>2. 技術競技大会に関する事項</li><li>3. 優良機材推奨制度及び全関推奨制度に関する事項</li><li>4. 技術研修及び講習に関する事項</li><li>5. 自家用波及事故防止に関する事項</li><li>6. 外部の技術関係委員会・研究会に関する事項</li><li>7. 受託研究に関する事項</li><li>8. その他技術、技能に関する事項</li></ol>

## 7. 賛助会員（順不同）

本会の事業活動をご支援いただいている賛助会員数は49社となります。

東京電力パワーグリッド株式会社	安蘇印刷株式会社
公益社団法人東京電気管理技術者協会	日本高圧電気株式会社（○）
パナソニック株式会社（○、□）	三菱電機株式会社
東芝ライテック株式会社	株式会社三英社製作所（○）
那須電材産業株式会社	金邦電気株式会社
古河電気工業株式会社	マクセルイズミ株式会社
ミツワ電機株式会社	未来工業株式会社（○）
テンパール工業株式会社（○）	オーム電機株式会社（○）
オーデリック株式会社	株式会社カワグチ（○、□）
日東工業株式会社（○、□）	共立電気計器株式会社
三菱電機住環境システムズ株式会社	株式会社能一産業（○）
ヨシモトポール株式会社	イチネンTDリース株式会社
株式会社日本ネットワークサポート（○）	ミドリ安全株式会社
大崎電気工業株式会社	藤倉商事株式会社
ワゴジャパン株式会社（○）	河村電器産業株式会社（○、□）
内田鍛工株式会社（○）	スリーエムジャパン株式会社
株式会社戸上電機製作所（○）	株式会社西田製作所（□）
日動電工株式会社（○）	DX アンテナ株式会社
株式会社伊藤電気製作所（○）	株式会社空調服（□）
内外電機株式会社（○）	日本安全産業株式会社（○）
東神電気株式会社（○）	ヒラキ電計機株式会社
合同印刷株式会社	埼玉エンジニアリング株式会社
株式会社東光高岳（○）	古河電工パワーシステムズ株式会社
株式会社土井製作所	
大垣電機株式会社（○）	○…優良機材推奨品認定メーカー
エナジーサポート株式会社（○）	□…全関推奨品認定メーカー

## 8. 表彰関係

- (1) 電気保安功労者表彰 経済産業大臣表彰 電気工事事業者の営業所の部 2件名
- (2) 電気保安功労者表彰 関東東北産業保安監督部長表彰  
個人の部（電気工事士）（4件名）
- (3) 電気安全関東委員会委員長表彰（43件名）
  - ①電気工事事業者 12件名
  - ②電気工事士 25件名
  - ③現場第一線従事者 6件名
- (4) 優秀施工者国土交通大臣顕彰 1名
- (5) 青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰 1名

(6) 第9回(39回)全関会長表彰 50名

正会員および事務局職員等について、他の模範となるものを表彰しました。

(7) 主要事業の表彰

事業活動の活性化を図るため、主要事業取り組みの成果について総合評価した結果、1位：埼玉県地域協会、2位：神奈川県地域協会、3位：群馬県地域協会を表彰しました。

令和元年度の主要事業は以下のとおりです。

- ・会員加入促進強調月間(評価項目：新規会員加入率)
- ・漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動(評価項目：漏電遮断器取付率、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器への取替率、感震ブレーカー取付率)
- ・住宅電気工事センター活性化方策(評価項目：受付件数の増加率、即日処理の向上率、不適合電話受付率)
- ・不適合工事ゼロ運動(評価項目：8月・2月不適合率、不適合工事の改善率)
- ・施工証明制度の定着化方策(評価項目：施工証明書適用率、適用率の向上率)
- ・全関技術競技大会(評価項目：競技大会審査結果)
- ・作業安全・交通安全(評価項目：安全研修、安全パトロール実施率)
- ・事業管理(評価項目：上記の主要事業等の報告期日)

## 9. 新年賀詞交歓会の開催

本会の公益目的事業を支えていただいているご来賓や賛助会員、正会員の交流の場として新年賀詞交歓会を開催しました。

- ・日時：令和2年1月24日(金) 15時00分～17時00分
- ・場所：第一ホテル東京
- ・参加者：ご来賓、賛助会員、正会員など189名が参加しました。

## 10. 全関事務所の改装

東京都環境局が行っている地球温暖化対策の施策に呼応し、本会事務所のオーナーからグリーンリースの提案があり、本会も環境保全の理念に賛同するため、空調設備と照明器具の改修を実施しました。

また、これに伴い、照明器具の配置の変更とパーティションの張替えを行うことからOAフロア等へ整備し、平成15年からの事務所のレイアウトを変更する改装を行いました。

## 【事業関連】

### 1. 電気安全・保安推進事業【公益目的事業】

#### (1) 電気安全保安相談業務

##### ①住宅電気工事センターの運営

電力会社(または国の登録調査機関)が実施する、法で定められた4年に1度の一般用電気工作物定期調査において発見された不適合電気設備の改修相談、ブレーカーが落ちることの相談、コンセントなどの器具の増設・位置変え等など、より電気を安全に便利に使うための相談に応じております。

また、住宅電気工事センターを知っていただき、より身近なセンターを目指すためチラシ(488,000枚)を作成し、電気使用安全月間などの諸事業の機会を捉え、配布しました。

## ②受動型保安から能動的電気災害の予防、保安の周知啓発

東京電力エナジーパートナー(株)と協業した訪問サービス業務において、お客さま宅訪問時に、内線設備診断、消費者の利便性向上に向けた適切な需給契約のコンサルト、省エネや改修に関する相談など電気災害の予防、保安の観点から周知啓発活動を実施しました。

## (2) 電気使用安全月間への参画

一般用電気工作物の電気災害の防止や保安確保に資することを目的に、令和元年度も経済産業省主唱による「電気使用安全月間」(実施期間：令和元年8月1日～31日)に参画し、本会会員も電気安全の観点から、キャラバン隊による巡回PR、電気相談所の開設、街頭キャンペーン、広報活動等に東京電力パワーグリッド(株)、(一財)関東電気保安協会、その他関係諸団体のご協力を得ながら積極的に取り組みました。

### ①キャラバン隊の実施や相談所による活動

- ・電気使用者に対し、電気使用安全の啓発活動、節電・省エネに関する情報周知、漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進、および電気使用の合理化に関する啓発、相談を実施するため、繁華街を中心とした拠点の活用や地域の夏祭り等の機会を捉え、キャラバン隊の実施や相談所の開設をいたしました。また、PR用のツールとしてボールペン5,000個、うちわ10,000本を配布しました。

キャラバン隊実施回数75回、編成人数(延べ人数)634名、使用車両台数68台となり、相談所は28箇所開設し、268件の相談に応じました。

### ②電気使用安全月間アンケートの実施

電気使用安全月間の啓発活動の一環として、全関ホームページまたは各都県のキャラバン隊実施時に、電気安全に関するアンケートを実施しました。

a. 実施期間：令和元年8月1日～9月5日

b. 回答数 143件

c. 年齢

- ・10代(11.9%)・20代(4.9%)・30代(18.9%)・40代(25.2%)・50代(9.1%)
- ・60代(15.3%)・70代(9.8%)・80代(4.9%)

d. 性別

- ・男性(39.2%)・女性(60.8%)

Q1. 環境省では、夏の冷房時の室温は28度を目安と定めておりますが、それぞれの取組を教えてください(回答数165)

- ・28度に設定している(42.5%)・28度に設定していない(33.3%)
- ・効果的なのは知っている(14.5%)・温度は気にしない(6.1%)
- ・エアコンを使用していない(3.6%)

Q2. ご自宅の分電盤には漏電遮断器は付いていますか(回答数165)

- ・付いている(62.5%)・付いていない(4.2%)・分電盤がわからない(13.9%)
- ・漏電遮断器がわからない(8.5%)
- ・分電盤や漏電遮断器の両方ともわからない(10.9%)

- Q 3. 中性線欠相保護機能付き漏電遮断器はご存知ですか (回答数 161)
- ・知っている (23.0%) ・知らない(77.0%)
- Q 4. 自然災害時の電気火災対策の一つとして、一定以上の地震の揺れにより、各家庭の電気の供給を自動的に遮断し、電気に起因する出火を防止する「感震ブレーカー等」は知っていますか (回答数 167)
- ・知っている (39.5%) ・知らない (43.7%) ・知らないが興味はある (13.8%)
  - ・すでに導入している (3.0%)
- Q 5. コンセントプラグはときどき乾いた布などで掃除していますか (回答数 160)
- ・している (46.9%) ・していない (53.1%)
- Q 6. コンセント差込口が足りず、たこ足配線になっていませんか (回答数 161)
- ・なっている (42.2%) ・なっていない (57.8%)
- Q 7. 分電盤にあるメインブレーカー (漏電遮断器) がよく切れませんか (回答数 157)
- ・切れる (5.7%) ・切れない (94.3%)
- Q 8. ご自宅で行われている節電方法はなんですか (複数回答) (回答数 515)
- ・エアコンの設定温度を調整している (17.3%)
  - ・無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機等を使用している (15.1%)
  - ・直射日光を避けるため、すだれやよしずを活用している (11.1%)
  - ・冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に変えた (5.6%)
  - ・日中は不要な照明を消す (21.0%)
  - ・リモコンの電源ではなく本体の主電源を切る (4.5%)
  - ・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く (10.7%)
  - ・照明をLED電球に変えた (14.7%)
- Q 9. 地震の際の二次災害防止 (火災) のため、避難時にメインブレーカー (主開閉器) を切る (復旧時の通電火災の防止) ことや、電気機器のコンセントプラグを抜くことはご存知ですか (回答数 155)
- ・知っている (56.7%) ・知らなかった (43.3%)
- Q 10. 今、エネルギー関連で興味のあるもの、詳しい内容が知りたいものを教えてください (複数回答)
- ①電気事情に関して (回答数 194)
    - ・節電や省エネ (44.8%) ・災害対策 (21.1%)
    - ・最大電力を抑えること (5.2%) ・電気料金の値上げ (28.9%)
  - ②技能や仕組みについて (回答数 64)
    - ・スマートコミュニティ (65.6%)
    - ・HEMS (ホームエネルギーマネジメントシステム) (34.4%)
  - ③設備に関して (回答数 150)
    - ・ヒートポンプ (7.3%) ・太陽光発電 (28.1%)
    - ・インバータ組込み機器 (6.0%) ・エコキュート (23.3%)
    - ・家庭用燃料電池 (20.0%) ・電気自動車及び充電設備 (15.3%)

④費用面など（回答数 113）

- ・機器単価（23.2%）・施工費（29.5%）
- ・助成金や補助金がある場合の内容や手続き（47.3%）

Q 1 1. 「IoT」（様々な物がインターネットに接続され相互に制御する仕組み）技術が  
進歩し、様々な製品やサービスが提供・検討されております。ご家庭またはご自身で  
活用したいと思うものを教えてください（複数回答）（回答数 195）

- ・生活家電（エアコン、照明、テレビなど）をスマートフォンやタブレットで自宅内・  
外から操作したい（35.9%）
- ・離れたところで暮らしている両親の生活を見守りたい（12.8%）
- ・自宅の電気使用状況を詳しく知りたい（使いすぎなどの把握）（18.5%）
- ・IoTがよくわからない（23.6%）
- ・IoTに興味がない（6.7%）
- ・IoTを利用したくない（2.1%）
- ・その他（0.4%）

Q 1 2. 「施工証明書兼お客さま電気設備図面」を見たことがありますか（回答数 146）

- ・見たことがある（21.9%）
- ・見たことはないが名前は聞いたことある（8.9%）
- ・見たことも聞いたこともない（69.2%）

Q 1 3. 平成 28 年 4 月から電力小売全面自由化、平成 29 年 4 月からガス小売全面自由化  
が始まり、お客さま自身で自由に電力・ガス会社を選択することが出来るようになりま  
したが電力・ガス会社を選択しましたか？

①電力会社（回答数 146）

- ・選択した（21.2%）
- ・選択していない、自由化以前のまま（78.8%）

②ガス会社（回答数 126）

- ・選択した（14.3%）
- ・選択していない・都市ガスエリアではない、自由化以前のまま（85.7%）

Q 1 4. 電力小売全面自由化で電気工事業者（電気工事店）や住宅電気工事センターに期  
待することはありますか。（回答数 131）

- ・電力会社を切り替える際の手続きを手伝って欲しい（12.2%）
- ・どの電力会社が良いのか相談に応じて欲しい（25.2%）
- ・特にない（62.6%）

(3) 漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動の実施

電気災害防止方策の一環として、昭和 51 年以来「漏電遮断器取付推進運動」に積極  
的に取り組み、平成 15 年度からは「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」への取替推  
進に重点を置き、欠相事故の未然防止に努めています。

また、平成 27 年度からは、大地震発生に伴う電気火災事故を防ぐため感震ブレーカ  
ーについて広く啓発活動を展開し、平成 29 年度から運動の名称を「漏電遮断器・感震

ブレーカー取付推進運動」(実施期間：令和元年8月1日～10月31日)として、関係団体・企業のご支援・ご協力のもと実施しました。

実施にあたっては、運動推進チラシ250,000枚、運動推進ポスター2,000枚、運動推進ポケットティッシュ50,000個、感震ブレーカーチラシ100,000枚を作成・配布しました。

①漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動実績

- ・漏電遮断器未取付のお客さまへの取付台数：1,433台
- ・中性線欠相保護機能付き漏電遮断器への取替え台数：916台
- ・分電盤タイプ(内蔵型及び後付型)の感震ブレーカー取付台数：219台(内71台は後付型)

②お客さまアンケート結果

a. 実施期間：令和元年8月1日～10月31日

b. 回答数：562件

c. 年齢

- ・10代(3.4%)・20代(8.3%)・30代(15.3%)・40代(23.2%)・50代(12.8%)
- ・60代(15.6%)・70代以上(15.5%)・無回答(5.9%)

d. 性別(回答数562)

- ・男(42.2%)・女(54.1%)・無回答(3.7%)

e. 職業別

- ・会社員(33.0%)・自営業(7.3%)・主婦(27.0%)・学生(5.5%)
- ・その他(8.2%)・無回答(19.0%)

Q1. 漏電遮断器をご存じですか

- ・知っている(66.7%)・知らない(31.7%)・無回答(1.6%)

Q2. ご自宅の分電盤に漏電遮断器は取付けてありますか

- ・取付けてある(81.2%)・取付けてない(8.8%)・わからない(10.0%)
- ・無回答(0.0%)

Q3. 今後、漏電遮断器を取り付けるご予定はありますか

- ・予定がある(16.1%)・予定はない(35.5%)・わからない(48.4%)
- ・無回答(0.0%)

Q4. Q3で「予定はない」と回答した理由をお聞かせください

- ・取付に費用をかけたくない(45.0%)・今まで電気トラブルはなかった(44.0%)
- ・その他(11.0%)・無回答(0.0%)

Q5. 中性線欠相保護機能付き漏電遮断器をご存知ですか

- ・知っている(15.0%)・知らない(83.6%)・無回答(1.4%)

Q6. ご自宅の漏電遮断器が中性線欠相保護機能のない漏電遮断器だった場合には、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器に取り替えますか

- ・取り替える(54.4%)・取り替えない(24.1%)・わからない(16.5%)
- ・無回答(5.0%)

- Q 7. Q 6で「取り替えない」と回答した理由をお聞かせください
- ・取り替えに費用をかけたくない (23.5%)
  - ・今まで電気トラブルはなかった (58.8%) ・その他 (17.6%) ・無回答 (0.1%)
- Q 8. いままで、漏電遮断器のスイッチが切れたことがありますか
- ・ある (23.5%) ・ない (65.0%) ・無回答 (11.5%)
- Q 9. 漏電遮断器のスイッチが切れた時、あなたはどうしましたか
- ・家族が操作した (59.1%) ・電力会社に電話した (16.5%)
  - ・住宅電気工事センターに電話した (5.5%) ・電気工事店に電話した (11.8%)
  - ・その他 (3.1%) ・わからない (2.4%) ・無回答 (1.6%)
- Q 10. 漏電遮断器が作動した時の対処方法をご存知ですか
- ・知っている (40.7%) ・知らない (53.6%) ・無回答 (5.7%)
- Q 11. 感震ブレーカーをご存じですか
- ・知っている (41.7%) ・知らない (55.6%) ・無回答 (2.7%)
- Q 12. ご自宅の分電盤に感震ブレーカーを取り付けてありますか
- ・取付けてある (20.6%) ・取付けてない (61.8%) ・わからない (17.1%)
  - ・無回答 (0.5%)
- Q 13. 今後、感震ブレーカーを取り付けるご予定はありますか
- ・予定がある (9.6%) ・予定はない (60.3%) ・わからない (29.4%)
  - ・無回答 (0.7%)
- Q 14. Q 13で「予定はない」とご回答した理由をお聞かせください
- ・取付に費用をかけたくない (58.0%)
  - ・いつ起こるかかわからない大震災に備える必要はない (21.7%)
  - ・その他 (20.3%) ・無回答 (0.0%)

#### (4) 工物品質向上方策に関する理解活動

##### ①不適合工事ゼロ運動の展開

「不適合工事ゼロ運動」を令和元年8月、令和2年2月に実施し、施工証明書の活用による自主検査実施の徹底を図り、不適合工事減少に向け取り組みました。

不適合工事率は年々減少の傾向を示しているものの、不適合工事内容については、依然として接地工事の不適合が過半数を占めており、接地工事の必要性、重要性について周知しました。

##### a. 令和元年8月

- ・施工証明書適用率 31.4%、不適合工事率 0.22%です。
- ・不適合工事内容の構成は、引込点から分電盤までの配線 (10.6%)、分電盤の確認 (22.0%)、漏電測定 (7.1%)、接地工事 (60.3%) です。

##### b. 令和2年2月

- ・施工証明書適用率 32.7%、不適合工事率 0.18%です。
- ・不適合工事内容の構成は、引込点から分電盤までの配線 (11.2%)、分電盤の確認 (17.9%)、漏電測定 (4.5%)、接地工事 (66.4%) です。

## 2. 環境理解推進事業【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

### (1) 講演会の開催

地球温暖化問題やエネルギー消費の増大などエネルギーを巡る情勢が変わる中、効率の良い低炭素なエネルギー利用という新たな社会・環境貢献を追求しつつ、活動を強く推進する指導者を育成し、その中で得た専門的知識を通じて地域社会に根付いた幅広い活動を展開し、周知啓発活動を実施することを目的として、以下のとおり、「関東地区電気エネルギーを考える委員会」主催の「講演会」を開催しました。

①開催日時 令和2年1月24日（金）13時00分から14時20分

②開催場所 千代田区立内幸町ホール（千代田区内幸町1-5-1）

③受講者数 106名（来賓、賛助会員、正会員、関東地区電気エネルギーを考える委員会委員、一般のお客さま 他）

#### ④講演

a. テーマ 『再生可能エネルギーの現状と東京電力グループの取組みについて』

- ・パリ協定、二酸化炭素排出量実績・削減目標、地球温暖化防止
- ・長期エネルギー需給見通し
- ・再生可能エネルギーの概要（定義、種類、特徴など）
- ・東京電力グループの取組み（発電事業～小売事業）
- ・国内の再生可能エネルギーの課題

b. 講師

[東京電力エナジーパートナー株式会社 販売本部 再エネ推進部長]

#### ⑤アンケート実施結果

a. アンケート回答率 84.9%（回答数 90／来場者数106）

b. 設問への回答状況

Q1. 日本は、2030年時点で温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減する目標を掲げていますが、そのためには、再生可能エネルギーの重要性が増しています。今後とも、再生可能エネルギーの導入を拡大していくべきだと思いますか。

・そう思う 87.8% ・そうは思わない 5.6% ・わからない 5.6% ・無回答 1.0%

Q1-1. 「そう思う」と回答された方へ

a. 自社で再生可能エネルギーの導入もしくは低炭素に向けた具体的な取組みを実施していますか。

・実施している 34.2% ・実施したいが、具体的には出来ていない 39.2%  
・実施する予定はない 11.4% ・わからない 11.4% ・無回答 3.8%

Q2. 東京電力グループでは、再生可能エネルギーをつくる側とつかう側をつなぐ商材やメニュー、取組みを提供する「グリーンパワープラットフォーム」を構築し、「再エネ発電設備サービス」「生グリーン電力メニュー」「グリーン電力証書付き電力」などの各種サービスを組み合わせ、お客さまが要望する再エネ比率の実現に向けて取り組んでいます。こうした取組みに期待しますか。

・期待する 73.3% ・期待しない 13.3% ・わからない 12.3% ・無回答 1.1%

Q 2-2. 「期待する」と回答された方へ

a. 具体的にはどのような点に期待しますか。(複数回答)

- ・自社の再エネ比率達成に向けた十分な供給量があること 33.3%
- ・新たな再エネ電源であること 40.9%
- ・リアルタイムで再エネを活用していること(30分値同時同量) 13.6%
- ・特定の再エネ電源であること(発電所名が分かる) 13.6%
- ・地産地消の要素が高いこと 50.0%
- ・価格が安いこと 43.9%
- ・無回答 3.0%

Q 3. エネルギーの安定供給(自給率の向上)、環境への適合性(温室効果ガスの削減)、経済効率性(電力コストの抑制)の観点から、安全性を前提として2030年の原子力発電の電源構成比率を22~20%としていますが、今後、特に気候変動問題への対応の観点からも原子力発電が役割を果たしていく必要性があると思いますか。

- ・そう思う 75.6%
- ・そうは思わない 15.6%
- ・わからない 7.8%
- ・無回答 1.0%

【ご意見・ご感想】

- ・再生可能エネルギーに関する知識が得られ、良かったです。
- ・あまり聞いたことがない分野の話を総合的に聞いて良かったです。
- ・わかりやすい説明でよく理解できました。 他

### 3. 内線規程講習会【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

内線工事に従事している電気技術者に対して、内線規程について正しく理解させ、専門的技術や知識等の普及に努めるとともに、人材を育成することで、工事品質の向上を図ることを目的に実施しました。

#### ①群馬県会場

- ・日時：令和元年10月31日(木)9時00分~17時00分
- ・会場：群馬県電気工事工業組合 会議室
- ・講師：群馬県地域協会 2名
- ・受講者数：33名
- ・理解度診断結果：82.5点

#### ②埼玉県会場

- ・日時：令和元年11月5日(火)9時00分~17時00分
- ・会場：埼玉県電気工事工業組合 会議室
- ・講師：埼玉県地域協会 2名
- ・受講者数：18名
- ・理解度診断結果：68.2点

#### ③神奈川県会場

- ・日時：令和元年11月12日(火)9時00分~17時00分
- ・会場：神奈川県電気工事工業組合 会議室
- ・講師：神奈川県地域協会 2名
- ・受講者数：52名

- ・理解度診断結果：79.0点

#### ④東京都会場

- ・日時：令和元年12月6日（金）9時00分～17時00分
- ・会場：東京都電気工事工業組合 会議室
- ・講師：東京都地域協会 2名
- ・受講者数：25名
- ・理解度診断結果：74.5点

#### 4. ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

建築基準法で定められた「防火区画等」や、ケーブル防火区画貫通部に関する知識・技術を習得するための講習会を開催し、ケーブル火災の防止に努めるため下記講習会を実施しました。

##### ①講師

- ・(株)古河テクノマテリアル 防災事業部 市場開発部 部長

##### ②開催結果

- a. 日時：令和元年10月24日（木） 18時00分～20時00分
  - ・会場：東京都電気工事工業組合 世田谷地区本部
  - ・受講者数：20名
  - ・確認テスト結果：10点満点中 8.9点
- b. 日時：令和元年11月14日（木） 18時00分～20時00分
  - ・会場：神奈川県電気工事工業組合 会議室
  - ・受講者数：116名
  - ・確認テスト結果：10点満点中 8.9点
- c. 日時：令和元年11月29日（金） 14時00分～16時00分
  - ・会場：埼玉県電気工事工業組合 会議室
  - ・受講者数：27名
  - ・確認テスト結果：10点満点中 9.1点
- d. 日時：令和2年2月7日（金） 10時00分～12時00分
  - ・会場：茨城県電気工事業工業組合 会議室
  - ・受講者数：17名
  - ・確認テスト結果：10点満点中 9.2点

#### 5. 第27回全関技術競技大会【災害復旧応動体制整備事業：公益目的事業】

電気工事の的確な施工と安全を重視した基本作業の定着及び公衆安全の確保を図ることはもちろん、非常災害時における、電気の復旧作業については、迅速かつ適切な対応が求められる中、日頃の技術・技能の研鑽が重要です。そこで復旧工法の工夫や改善、安全意識の向上を目的として実施し、改善成果の確認ならびに好事例を公表し、水平展開することで、より高いレベルの定着化を図り、緊急時対応にそなえることを目的に開催しました。

- ①開催日時：令和元年12月19日（木） 9時00分～16時00分 天候：曇り

②開催場所：東京電力パワーグリッド(株)総合研修センター（東京都日野市百草 460）

③参加者：選手 1 チーム 5 名×9 チーム=45 名

：来賓・審査委員・採点委員・本会役員 12 名・競技大会実行委員  
見学者・マスコミ等 156 名 合計：201 名

④実施結果：関東東北産業保安監督部長賞 千葉チーム  
：東京電力パワーグリッド株式会社 社長賞 神奈川チーム  
：一般財団法人関東電気保安協会 理事長賞 山梨チーム  
：全日本電気工事業工業組合連合会 会長賞 群馬チーム  
：公益社団法人全関東電気工事協会 会長賞 埼玉チーム

⑤審査委員長講評（概要）

選手の皆様、寒い中、大会に全力を尽くされ大変お疲れ様でした。本日の大会の審査結果につきまして、審査委員および採点委員を代表いたしまして講評をさせていただきますと思います。

本大会の審査は与えられたテーマについて、限られた時間内に電気設備の技術基準等を遵守し、いかに手際よく確実に完成できたかを公平かつ厳正に審査いたしました。

審査は、審査委員 5 人、採点委員 10 人で、参加 9 チームにつきまして、厳正に審査させていただきました。その評価は各チームとも拮抗していました。

良かった点、気づいた点をいくつか紹介させていただきます。

○良かった点

- ・呼称、復唱および TBM や KY 活動が徹底出来ていた。
- ・仕上がりについてしっかり出来ていた。
- ・内線材料や工具の整理整頓がキッチリ出来ていた。

○気づいた点

- ・柱上作業において、作業位置での安全帯の使用 방법이若干不十分なチームがあった。
- ・柱上の作業員への監視や相互確認が不足しているチームがあった。

参加された選手の皆様におかれましては、本大会を契機に、更に技術を磨かれるとともに、今後も職場や地域の技術指導者として大いに活躍されることを期待しております。

## 6. 台風 15 号に伴う復旧要請への対応【災害復旧応動体制整備事業：公益目的事業】

9 月 9 日（月）台風 15 号が関東（主に千葉県）を直撃し、大規模な停電が発生いたしました。台風の影響により倒木や土砂崩れで復旧作業が難航し、東京電力パワーグリッド(株)から復旧協力要請を受けました。

この復旧協力要請を受けて、本会内に「非常災害対策本部」を設置し、千葉県エリアで引込線張替作業を行える工事店を選出し、復旧工事を実施しました。

○設備被害復旧工事（概要）

- ・復旧対応工事日：令和元年 9 月 23 日、25 日の 2 日間
- ・対応工事店：東京都 1 社、埼玉県 3 社の計 4 社
- ・復旧地域：千葉県千葉市、市原市、袖ヶ浦市
- ・復旧概要：引込線仮改修により停電は解消されているものの、引込線張替が必要となる工事 15 件
- ・実施結果：改修完了 7 件
  - ：お客さま不在 1 件
  - ：要建物・お客さま設備改修 3 件

- : 延期 2 件
- : 改修済 2 件

なお、「大規模災害発生時における連絡手段」に関する資料収集・調査の実施結果については、令和 2 年度事業計画で実施する「災害時の電力早期復旧に向けた東京電力パワーグリッド(株)への協力内容・態勢の検討」結果と合わせ、より実態に即した形で報告することとします。

## 7. 工事請負等の業務支援に関する事業【収益事業】

### (1) 引込線請負工事店の安全研修・安全パトロール

引込線請負工事店の安全研修への全員参加の徹底、安全パトロールの効果的な実施とともに、引込線請負工事契約を希望する工事店の推薦業務を実施しました。

平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月実績

推薦希望 工事店数	新規・変更 (延べ)	158 社
	更新 (延べ)	3,482 社
	計 (延べ)	3,640 社
安全研修		217 回
安全パトロール		116 回

## 8. 電気機器材料の品質向上に関する運営および使用推奨の普及活動、また関係団体との情報交換に関する事業【収益事業】

### (1) 優良機材推奨品認定制度の運営について

令和 2 年 3 月末までの認定件数は、更新 6 件、更新・部分変更 5 件、部分変更 8 件となりました。

### (2) 全関推奨品認定制度の運営について

令和 2 年 3 月末までの認定件数は、更新 1 件となりました。

## 9. 新規事業への取組【収益事業】

### (1) 東京電力エナジーパートナー(株)と協業した訪問サービス業務の実施

平成 30 年度より東京都エリアで取り組んでおります、東京電力エナジーパートナー(株)との協業事業である訪問サービス業務については、令和元年 5 月に埼玉県エリア、同年 7 月に千葉県エリア、神奈川県エリアでも活動を開始し、各エリアにおいてより多くのお客さま宅訪問を実施しました。

なお、当該業務については、令和 2 年 3 月末の契約期間満了をもって終了となりました。

### (2) テプコカスタマーサービス(株)と協業した受電設備サービスの実施

テプコカスタマーサービス(株)と協業し、「高圧受変電設備新設・更新工事」見積業務等を受託すべく、新たに電気工事店 4 社をテプコカスタマーサービス(株)に推薦しました。今後、円滑な業務実施体制の確立に向けて検討を進めてまいります。